ねんきんだより Pensions News

出産前後の国民年金保険料免除制度について

国民年金第１号被保険者が出産を行った際に、出産前後の一定期間の国民年金保険料が免除される制度が平成31年４月から始まりました。

○免除期間

出産予定日または出産日が属する月の前月から４か月間（以下「産前産後期間」といいます）の国民年金保険料が免除されます。

なお、多胎妊娠の場合は、出産予定日または出産日が属する月の３か月前から６か月間の国民年金保険料が免除されます。

○対象となるかた

国民年金第１号被保険者

○届出方法

出産予定日の６か月前から提出可能です。

問合せ　太田年金事務所 ☎49－3716

消費トラブルにご注意！

点検中に壊された？点検商法にご注意！

【事例】

近所で工事しているという事業者が突然訪れ「お宅の屋根がめくれているのが見えた。屋根に登って点検させて欲しい」というので依頼した。点検後、屋根が浮いている箇所の写真を見せられ、そのままにしてはおけないと思い、その業者と約30万円の修理を契約した。

その後、家族の勧めでハウスメーカーに確認してもらうと「釘を引き抜いたような新しい傷がある」と言われた。

（60歳代 女性）

【ひとこと助言】

突然訪問してきた事業者に安易に点検などさせず、また、点検後すぐに修理を勧められても、その場での契約は避けましょう。

まずは家族や周囲の人に相談しましょう。別の専門家に確認を依頼したり、複数の事業者から見積りを取るのも良いでしょう。

家族や周囲の人は、不審な人物が来ていないか、見慣れない書面がないかなど、特に高齢者の様子には気を配りましょう。

工事後でも、クーリング・オフできる場合がありますので、困ったときは、すぐに消費生活センターにご相談ください。

相談は消費生活センターまで　☎82－7830（ナヤミナシ）

休日当番医

期日	内科系		外科系	耳鼻科
６月５日（日）	須田内科医院 63－1414	横田医院 72－0255	富士クリニック ペインクリニック 20－1971	川村耳鼻咽喉科医院 72－1337
６月12日（日）	はまだクリニック 80－1100	阿部医院 62－5428	慶友整形外科病院 49－9000	－
６月19日（日）	たなか医院 62－2881	明和赤ちゃんこどもクリニック※ 84－1166	明和セントラル病院 84－1234	板倉耳鼻咽喉科クリニック 80－4333
６月26日（日）	県西在宅クリニック舘林 55－3818	小児科おぎわらクリニック※ 61－1133	岡田整形外科クリニック 72－3163	－
７月３日（日）	蜂谷病院 63－0888	星野こどもクリニック※ 70－7200	川島脳神経外科医院 75－5511	川田耳鼻咽喉科医院 72－3314
７月10日（日）	後藤内科医院 72－0134	多々良診療所 72－3060	館林市夜間急病診療所 73－2313	－
７月17日（日）	福田ペインクリニック 84－1233	金丸内科医院 88－3200	新橋病院 75－3011	川村耳鼻咽喉科医院 72－1337
７月18日（祝）	ましも内科・胃腸科 62－2025	小西医院 86－2261	小曽根整形外科 72－7707	－

歯科	
館林邑楽歯科保健医療センター 73－8818 午前９時～正午	◆緊急　公立館林厚生病院　☎72－3140（内科系・外科系） ◆コロナに関すること　群馬県受診・相談センター ☎0570－082－820（24時間受付）

●診療時間は、午前９時～午後５時（ただし、耳鼻科の診療時間は、午前９時～午後１時）
●内科系の※は、小児科のみとなります。　●受診前に必ず医療機関に電話で確認してください。
●救急テレホンサービス　☎73－5699：受診可能な病院を紹介しています。

Face フェイス

環境を整えるため日々の清掃を大切にする

目標は父であり師である住職

小島匡史さん

こじま　ただし　48歳
大字細谷在住

趣味は読書。特に歴史物や時代物が好きです。たまの休みにはまとめ読みをしてしまうこともあります。

レポーター
広報編集委員
横塚（よこつか）　修（おさむ）

副住職と施設職員の二刀流

生家であるお寺の副住職を務めながら、町内にある特別養護老人ホームでお仕事をされている小島さん。施設では、事務職として、通所や入所、退所のための手続きから、各種契約などの事務的な処理はもちろん、入所者からの相談を受けたり、バスの運転、施設内での多岐にわたる物事の対処にあたる中心的役割を担っています。

寺を次ぐ決意

副住職としては、江戸宝永年間（1704～1711）から続くお寺で、第16世住職の父とともに日々修行に励まれています。

男三人兄弟の次男として生まれ、自分がお寺の継承をするとは思っていなかったそうですが、仏教系大学への進学を考えるようになり、実家を次ぐという決意が生まれてきたそうです。

在学中の修行

大学での在学１年目に千葉県にあるお寺で40日間の修行（加行（けぎょう））を行いました。起床は毎朝４時厳守。法要の教本を読経し、護摩（ごま）を焚き続ける厳しいもので、時には１時間の仮眠がとれるだけという日もあったそうです。また、夏休みの期間中には、奈良県にある総本山でも修行を行ったということです。

地元で働くありがたさ

大学を卒業して実家に戻るとき、たまたまその頃に高齢者介護施設が開所するということで、就職しました。平日は施設で働き、土・日は副住職としてのお勤めを果たされています。

「施設で働いていると、地元のかたに顔を覚えてもらったり、檀家さんともお寺以外でコミュニケーションがとれたりと、とてもありがたい面がたくさんあります」また「目標は父であり師でもある住職です。まだ、足元にも及びません」という小島さん。お寺でも職場でも環境を整えるため、日々の掃除を大切にされています。

朗らかな笑顔に人柄が表れ、好印象を与えてくれる副住職。体に気をつけて、ご活躍をお祈りいたします。